※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	詳説日本史「日本史探究」　（山川出版）						
副教材等	「山川　詳説日本史図録第９版」（山川出版社）、「チェックリスト 2023」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「日本史探究」は地理歴史科の中に新しく設けられた科目です。「歴史総合」で学んだことを基に，発展的に学習する選択履修科目として位置づけられています。
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。

２　学習の到達目標

①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かる効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，次期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察し，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 ○考察，構想したことを効果的に説明し，それらを基に議論している。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章日本文化のあけぼの	1　文化の始まり 2　農耕社会の成立 歴史資料と先史・古代の展望	a：旧石器文化から縄文文化への変化，弥生文化の成立などをもとに，諸資料から歴史に関する様々な情報を敵切かつ効果的に調べまとめ，黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，先史社会の特色を理解している。 b：自然環境と人間の生活との関わり，中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，多面的・多角的に考察し，表現している。 黎明期の日本列島の変化に着目して，先史社会の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c:先史・古代の日本と東アジアに関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組み，課題を追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト 提出物
	2章古墳	1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	a:国家の形成と古墳文化，律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，			

※令和４年度以降入学生用

	と大和政権		先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 「大和王権は，人々をどのように支配していったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 「東アジア情勢の変化のなかで，倭国はどのような国際関係を築こうとしたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 b：中国大陸や朝鮮半島との関係，隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して，主題を設定し，小国の形成と連合，古代の国家の形成の過程について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：古墳と大和政権の内容に関して見通しをもって学習に取り組み，課題を追究しようとしている。			
	3章 律令	1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化	a: 「律令国家とはどのような国家だったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取			

※令和４年度以降入学生用

	国家の形成	4 律令国家の変容	っている。 「奈良時代にはどのような政治がおこなわれたのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 b：「日本が中国にならった律令にもとづく国づくりを，急いで進めたのはなぜだろうか」などの課題について，中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して考察し，その結果を表現している。 「天平文化の国際性は，どのような要因によってもたらされたのだろうか」などの課題について，中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して考察し，その結果を表現している。			

※令和４年度以降入学生用

2学期	4章 貴族政治の展開	1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	a：貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解している。 b：地方の諸勢力の成長と影響，東アジアとの関係の変化，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，古代の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：貴族政治の展開について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 貴族政治の展開に対して，自身の学習について振り返り，調整しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト提出物
	5章 院政と武士の躍進	1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	a：院政の特色や荘園公領制の成立について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。 武士の社会進出と平氏政権の誕生，日宋貿易と院政期の文化の特色について，諸資料から適切かつ効果的に読み取り，理解している。 b：権力の主体の変化などに着目して，朝廷政治や土地支配のしくみがどのように変容していったのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 C：中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。			

※令和４年度以降入学生用

	6章武家政権の成立	1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	a: 武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解している。 b: 公武関係の変化，宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c: 武家政権の成立の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	7章武家社会の成長	1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	a:「室町幕府はどのようにして政治体制をととのえていったのだろうか」などの課題について，複数の資料を活用し，学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 b: 「武家政権と朝廷の関係はどのように変化したのだろうか」などの課題について，社会や経済の変化とその影響などに着目して考察し，その結果を表現している。 C:「武家社会の成長」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

3学期	8章 近世の幕開け	1 織豊政権 2 桃山文化	a: 織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，中世から近世への時代の転換を理解している。 b: 村落や都市の支配の変化，アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して，中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 近世の日本と世界に関わる諸事象について，見通しをもって学習に取り組み，課題を追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト提出物
	9章 幕藩体制の成立と展開	1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	a: 法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，幕藩体制の確立，近世の社会と文化の特色を理解している。 b: 「江戸幕府は，朝廷とどのような関係を築き，文化にどのような影響を与えたのだろうか」などの課題について，織豊政権との類似と相違などに着目して考察し，その結果を表現している。 c: 幕藩体制の成立と展開の内容についての内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度